学校経営方針

令和7年4月
高槻市立玉川小学校
校長　玉元　菜生子

令和7年度　高槻市立玉川小学校
学校教育目標

すてきな大人になるために

自分もまわりも　幸せにできる力をつけよう！

子どもが魅力を感じる学校	地域や保護者が魅力を感じる学校	学校の責任について
・子どもが、「学校に行きたい」、「授業がわかる」と言える。 ・子どもが、「やってみたい」「やってよかった」と言える。 ・子どもが、「友だち好き」「先生好き」と言える。	・学校が楽しいと子どもが言う。 ・子どもの笑い顔がふえた。 ・あいさつができる子どもがふえた。 ・先生が明るく元気で、話しやすい。 ・話がわかりやすい。話を聴いてくれる。 ・信頼できる。	・学ぶ子どもが増え、基礎基本が定着している。 ・いじめを許さず、不登校を生み出さない。 ・すべての子どもに公平である。

令和７年度の学校経営方針については、信頼され、魅力ある学校として地域に存在する学校づくりとします。どの児童にとっても安心安全が保障され、誰もが心豊かに育ち、社会参画に向けた人間力を育成するため、具体的な学校教育活動の取り組みを CS を軸に地域と共に責任もって行っていきます。次に挙げる重点課題に、すべての教職員のベクトルを揃え、生活環境、学力、小規模校等の困難さを強みに変換していくことに努めてください。

今年度も、CS（学校運営協議会）をより一層深め、校区の連携を確かに行いコミュニティスクールの推進を行っていきます。

１、安心安全の徹底、危機回避能力のある学校

（１）児童の生命を預かっている自覚と責任をもち、あらゆる危機を想定した準備を行う。
（２）学校・教室の環境整備をきちんと行う。→　子どもたちがより良い環境で学ぶため。
（３）施設、備品の安全点検を行い、正しく事務処理を行う。

２、信頼できる学校

（１）心の安心、「先生は強い味方」「先生は分かってくれる」と言ってもらえること。
・子ども理解にとことん徹する。
・個に応じた（発達段階）指導をきちんと行う。
（２）すべての教職員が、「説明」と「丁寧な指導」が行えること。
・根拠を大事にする。（決めつけや思い込みは厳禁）
（３）すべての子どもに公平でなければならない。
（4）　まちがいを見逃さない、子どもを見捨てないこと。

３、責任が果たせる学校

（１）社会参画に向けた、底力（学力、人間性、心身の体力）を養える教職員であること。
・できなかったことが、できた！と言わせる授業づくりを徹底して行う。
（２）いじめ、不登校を生み出さないために、受容を大事に丁寧な指導を確実に行っていく。
・生徒指導部会が軸となり、PDCA を欠かさない。
（何のために誰が何を行っているのかを明確に！）
・子どもが学校に行きたい！と思える信頼関係づくりに努める。
（３）すべての子どもたちの学力を向上させる授業を行う。

４、教職員が力をつける学校

（１）責任を果たし、信頼を得るための努力を怠らない。
・学習指導要領、新生徒指導提要をしっかり読むこと。
・玉川小学校の研究目標を達成させること。
（２）教科担任制の利点を高める。
・専門性を活かし、質の高い授業を行う。
・学年ブロック長を置き、バランスのとれた子ども理解と指導を行う。
（３）発生したすべての事案や課題に、組織対応ができる力をつける。
・隠さない、逃げない、誤魔化さない。（学校の信頼を失わないために）
（４）服務、職務の遂行→　校内研修予定
・教育公務員としての自覚と責任、誇りをもつ
・多方面にわたる研修を自らの力に！

５、効率よく成果を生み出す働き方

（１）ブロック長会議を設置し、見通しをもった偏りのない業務を行う。
・担任業務をブロックで行う。
（２）「チーム玉川」の誇りがもてる働き方を自ら行っていく。

６、各教科で学び得た力を、「社会につなげる学び」とする教育の推進

（１）教科学習が丁寧に行われ、ミライ創生科とリンクすることで、自分の生き方を考えていくための力を高める取り組みを行う。
（２）自分の行き方を広げる　道徳教育、特別活動を行う。
（３）個別最適な学び、協働的な学びをより一層進化させ、子ども自ら主体となる教育を推進していく。

令和7年度の学校教育目標達成に向けた、より具体的な教育活動を行っていくという責任をもち、私たち教職員がよく信頼し合い、「すてきな大人」として子どもたちの見本になり、居心地の良いと思える職場づくりを目指しましょう！また、子どもたちの応援団となる地域の方と仲良く、言葉でつながる信頼関係を気付いていきましょう。
教職員が居心地の良いと思える職場づくりを自ら目指しましょう！